



地震・津波防災計画

防火・防災責任者：中本順也

防災担当：橋本晃

作成日：2016年5月16日

ver. 1.00

地震・津波発生時の基本的な考え方

1. 地震・津波発生時は、生徒全員の命を守ることを最優先とする。
2. 初動時の行動が最も大切であり、冷静かつ迅速に行動する。その時点で最適と思われる判断を迅速に塾が定めるので、勝手な行動により身を危険にさらすことのないように留意する。
3. いつ災害が起きても慌てないように、平日頃から防災への意識を高め、知識を深めておき、一人ひとりが防災に対する心構えや知識をしっかりと身につけておく。
4. 塾への行き帰りの途中に地震・津波が発生した場合の取り決めを家庭内で話し合ってもらいたい。
5. NTT災害用伝言ダイヤル「171」についての使用を念頭に入れておく。

教室見取り図と避難経路

全員が入り口横の階段を使用する。非常階段は地震・津波の際は絶対に使用しない。



非常灯と懐中電灯について

ビルが停電になった場合、非常電源が作動し、非常灯と避難誘導灯が点灯する。
万が一避難に十分な明るさが確保できていない場合のために、
各教室前方ホワイトボード付近にペンライト型および中型の懐中電灯を設置してある。
また通路には常備灯を設置してある。

避難の基本方針（下馬本部教室）

一次避難

本部教室において、強い揺れ（震度6以上）を感じた場合、先生の指示に従い、津波警報の有無に関わらず、速やかに**ビル屋上へ**避難する。

本部所在地の標高：**海拔4.0m**

本部KFビル屋上の高さ：**海拔23.0m**

相模トラフ沿いの海溝型地震での想定津波の高さ**14.5m** 最短津波到達想定時間**8分**

二次避難

地震による津波のおそれなかった場合、または津波が収束したことを確認できた場合、余震や移動距離のことも考慮し、地域の避難所である**第一小学校**へ移動し、保護者への引き渡しを速やかに行う。ただし、第一小学校が水没し、避難所としての機能を果たせない場合はこの限りではなく、塾に残り保護者への引き渡しを行う。

留意事項

持ち物は最小限とする。地震発生から避難指示までの間に、上着の着用と所持している場合は**携帯電話**を持って準備しておく。津波の危険性がある場合、走って外に飛び出す行動は命取りであり、周りに混乱を及ぼすため、絶対に避ける。

避難の基本方針（第二教室：御成町）

一次避難

第二教室において、強い揺れ（震度6以上）を感じた場合、先生の指示に従い、津波警報の有無に関わらず、速やかに**源氏山公園へ**と避難する。その際の避難経路は別に示す。

第二教室所在地の標高：**海拔6.0m**

海拔14.5m以上の地点に到達するまでの移動時間：**およそ7分**

避難所である源氏山公園に到達するまでの時間：**およそ25分**

相模トラフ沿いの海溝型地震での想定津波の高さ**14.5m** 最短津波到達想定時間**8分**

二次避難

津波の有無に関わらず、強い地震が起きた場合は、**源氏山公園**に避難する。

最短かつ混乱が少ない安全確保のルートを通り、源氏山公園の避難所で保護者への引き渡しを速やかに行う。

留意事項

持ち物は最小限とし、身軽な状態で移動できるようにする。地震発生から避難指示までの間に、上着の着用と所持している場合は**携帯電話**を持って準備しておく。

避難場所について

1. 本部教室からの避難

第一小学校



避難所：第一小学校

引渡し場所：第一小学校（校庭もしくは体育館）

連絡先：中本、橋本、寺下

2. 第二教室からの避難

源氏山公園への避難ルート



避難所：源氏山公園

引渡し場所：頼朝像前

連絡先：中本、橋本、寺下

（いずれかの責任者が源氏山公園で待機して対応）

引渡しについて

1. 生徒の引渡しは、原則として保護者に引き渡す。
2. 引渡しにあたっては、生徒・保護者・塾の三者の相互確認の上、引渡し時間、引取り人氏名を記録し、サインをしていただく。
3. 保護者が交通事情などにより直ちに引取りに来られない生徒については、先生・職員が保護下に置き、無事に引渡しが終わるまで責任を持って見守る。
4. 引渡し全員済むまで、先生・職員は塾内および第一小学校、ないしは源氏山公園に残る。

授業再開について

生徒の日常生活が再開できる目処が立った時点で業務を再開する。

業務再開の目安としては以下の通りである。

1. 電気や水道などのライフラインの確保と確認
2. 塾内の整理・清掃
3. 先生が授業を再開できる状態にある（家庭の状況も含めて勤務が可能である）
4. トイレの使用確認

なお、再開については、ホームページ上の緊急連絡欄およびメール、twitterを使用する。
電話による連絡は原則行わない。

緊急連絡先について

中本携帯 :
橋本携帯 :
寺下携帯 :
本部教室 : 0467-22-7898
第二教室 : 0467-22-7895

ホームページ : <http://subaru-ss.jp>
メール : info@subaru-ss.jp
Twitterアカウント : @subaru_1192

その他の地震発生時の留意事項、心構えについて

1. 蛍光灯落下や窓ガラスの破片、壁掛けホワイトボードの落下などから身を守るため、地震発生直後は机の下などに隠れ、身を守る。
2. 数十秒で地震の揺れは収まるが、余震などにも備えて重心を低くして行動する。
3. 窓ガラスのそばには近寄らない。
4. 倒れてくるものがあっても受け止めようとしない。よける。
5. 周囲のパニックを助長するような言動、行動は避ける。落ち着いて。
6. 慌てて階段に殺到しなくても津波到着まで時間はある。「全員が助かる」という原則を忘れずに。
7. クラスメイトの安否確認。怪我や様子がおかしい人がいた場合は、すぐに先生の指示を仰ぐ。
8. 第二教室からの避難時に外を歩く時は、電線や建物の倒壊、窓ガラスの落下などに気をつけ、周囲と声をかけ合いながら迅速に避難する。